

2024年1月11日

日本社会福祉系学会連合加盟学会の皆様

With コロナ時代における研究に関する状況とニーズと学会活動のあり方についての調査の御依頼

日本社会福祉系学会連合会長
保正 友子

平素より本連合の取り組みにご理解・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

まずは、この度の災害により被災された皆様ならびにそのご家族の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、この度日本社会福祉系学会連合では、With コロナ時代における研究に関する状況とニーズを明らかにし、今後の学会活動の指針を得ることを目的としたWeb調査に取り組むこととなりました。

結果については、日本社会福祉系学会連合のホームページに掲載し周知をはかります。

本調査に際しては、日本福祉大学倫理審査委員会の承認を受けており、調査は無記名で実施され、個人が特定されることはありません。なお、本調査はコロナ禍について問うものであるため、もしも心理的負担がかかる場合には、中止していただくことができます。また、アンケートにお答えいただいた後は、無記名のために撤回することができませんので、ご了承ください。

趣旨にご賛同いただける方にはご協力をお願い致します。所要時間はおおむね15分程です。

お忙しいなかとは存じますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

記

調査目的：

コロナ禍では、私たちの研究活動が大きく制限されました。一方、オンライン化が進んだことで、遠方や海外の学会にも参加できるようになるなどのメリットも生じました。コロナ禍の収束が見え始めたいま、それぞれの学会ではWith コロナ時代における学会活動あり方についての模索が始まっています。

本調査では、社会福祉系学会連合に加盟する22学会に所属する会員の皆様に対して、With コロナ時代における研究に関する状況とニーズを明らかにし、今後の学会活動の指針を得ることを目的とします。

調査対象：日本社会福祉系学会連合に加盟している22学会に加入している皆様
複数の学会に加入されている方は、調査への御協力は1回とします。

調査期間：2024年2月1日（木）～2024年2月29日（木）

調査方法：

・下記のURLまたはQRコードからご回答ください。なお、これらはメールアドレスとは紐づいていないため、個人が特定されることはありません。

<https://en.surece.co.jp/2402Withcorona>

※調査期間が開始するまでは準備中の表示となります。



- ・なお、調査内容で不明な点がある場合には、下記の日本社会福祉系学会連合事務局までメールにてお問合せください。 union-jssw@kokusaibunken.jp
- ・また、研究の倫理的事項に関する問い合わせがある場合には、「日本福祉大学『人を対象とする研究』に関する倫理審査委員会」相談窓口(rinri-sodan@ml.n-fukushi.ac.jp)までお願いします。

以上